

学校名 三次市立三次小学校
校長名 出口 康子**I 学校の状況**

学級数	1 2	児童・生徒数	2 3 4	教職員数	3 0
メールアドレス	miyoshi-e@school.miyoshi.hiroshima.jp				
ホームページアドレス	http://www.school.miyoshi.hiroshima.jp/elementary/miyoshi/				

II 学校教育目標

「心豊かで、自ら学ぶ意欲のある子供の育成」～みんなでつくるみんなの学校～
 (めざす子ども像)○進んで学ぶ児童 ○仲良く伸び合う児童 ○元気でやりぬく児童

III 使命・存在意義（ミッション）

- 子供の命を守るために
- 子供たちに「時を守り 場を清め 礼節を重んずる」指導を通して、生きる力を付けるために

IV 重点事項（努力点）

1 基礎学力の確実な定着

PISA型読解力・「語彙・読み・書き・計算」等の基礎・基本の学力の定着を組織的に図る。
 そのために、各学年での習熟すべき内容の定着度をチェックし、補充学習、繰り返し学習を充実させる。(学年習熟マスト表の活用)

2 以下の資質・能力を育成する。

「主体性」：自らの夢と志を持ち、自分から行動して新たな価値を生み出し、積極的に他に貢献しようとする。
 「コミュニケーション能力」：自分の考えを持ち、他者の思いを受け止め、言葉を通して互いに理解し、認めあえる。
 「協調性」：目的と目標を共有し、目標達成のために自らの役割を理解し、他者と協力できる。

そのために、各教科等、学校生活全般で次の機会を確保する。

- ◎自分たちで考える機会 (自分の課題 学級・学校の課題 地域・社会の課題 より良く生きる
主体的・対話的で深い学びの授業づくり)
- ◎自分たちが考えたことをやりきる機会 (特別活動の充実 主体的な行事 児童会の熱血宣言活動)
- ◎自分を振り返る機会

V 中心価値・行動規範**習慣が人をつくる**

- 「時を守り、場を清め、礼節を重んずる」

授業で人をつくる

- 特別支援教育の視点 ○伝え合い・聞き合い ○学びをつなぐ

信頼で学校をつくる

- 地域協働活動・CSの推進 ○傾聴・教育相談 ○情報開示・発信 ○「働き方改革」の推進

VI 現状分析**◇確かな学力**

○算数科の「A数と計算」領域における単元末テストの「知識・技能」の項目で、正答率75%以上の児童の割合 1回目…88.9% 2回目…88.6%

◇豊かな心

○自分から挨拶できる児童の割合 1回目…87.2% 2回目…87.8%
 ○総合質問紙調査（自己認識・社会性）の項目において、肯定的評価の児童の割合…86.5%
 ○不登校児童数 3名

◇健やかな体

○児童アンケートで①「運動が好き」②「体育の授業が楽しい」と答える児童の割合
 • ①運動やスポーツが好き 95.5%
 • ②体育の授業が楽しい 94.6%
 ○就寝時刻が午後10時を超える児童の割合 27.1%

VIII

中期経営目標及び短期経営目標

	中期経営目標	短期経営目標	評価項目	担当部
確かな学力の育成	<u>学力の定着・向上</u>	基礎学力の向上	・単元末テストの「数と計算」領域の「知識・技能」の項目の平均正答率を75%以上にする。	教務部
		育成すべき資質・能力の向上	・総合質問紙調査（コミュニケーション能力、協調性、主体性）の項目で肯定的に答えた児童の割合を70%以上にする。	教務部
豊かな心の育成	<u>社会性、自己認識の向上</u>	生徒指導諸問題の未然防止	・児童アンケートの評価において、「自分から挨拶できる」児童の割合を75%以上にする。	生徒指導部
		児童会活動の活性化	・熱血宣言達成率で全校平均85%以上 ・総合質問紙調査（自己認識・社会性）80%以上	生徒指導部
健やかな体の育成	<u>自律的な生活習慣の定着と体力の向上</u>	基本的生活習慣の充実	・メディアコントロール実施達成率85%以上	保健体育部
		健康安全意識と体力の向上	・体力・運動能力調査（国・県平均以上の児童割合） ・児童の自己評価アンケートにおいて運動やスポーツが好き、体育の授業が楽しいと答える児童の割合を80%以上にする。	保健体育部
信頼される学校	<u>コミュニティ・スクールとしての関心度・信頼度の向上</u>	小中一貫教育の充実・発信	・各学年1回以上、地域・家庭と連携したキャリア教育プログラムを実施し、学校・学級だより等やHPにおいて情報発信をする。	総務部
		地域からの学校への満足度・信頼度の向上	・保護者アンケートで本校教育に対する肯定的評価の割合80%以上にする。 ・保護者・地域関係者の学校支援活動参加数	総務部